

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

令和3年度 事業報告概要

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた1年となりました。当該年度内に3度の緊急事態措置等が適用され、様々な事業の中止や延期を余儀なくされる中、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染拡大防止に配慮しながら実施可能な福祉活動の実践に取り組みました。

事業については、平成30年に策定した「第2期柳川市地域福祉活動計画」の4年目の取り組みを進め、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

〈重点目標について〉

1. 第2期地域福祉活動計画の推進

新型コロナウイルス感染状況を考慮し、第2期地域福祉活動計画の4年目の取り組みを進めました。また、次期活動計画の策定に向け、市民や地域の福祉関係者を対象に地域福祉に関する意識及び実態などを把握し、計画策定の基礎資料とするために地域福祉に関するアンケート調査を行いました。

福祉委員活動の支援として、新型コロナウイルス感染拡大が一定落ち着いた折を見て、全体研修会を開催しました。地域に潜む個別課題やコロナ禍の活動事例等について学習し、今後の活動に活かす機会となりました。また、5期目の任期満了に伴い、福祉委員全員を対象に活動実態調査を行い、日頃の活動状況の把握に努めました。

地区社協の活動支援として、各地区の運営を担う役員を対象に地区社協役員研修会を開催しました。地区社協の運営に対する助言やコロナ禍の活動のあり方などの説明に加え、2地区から活動報告をしていただき、今後の取り組みを考える機会となりました。地区社協の活動状況や課題も様々であることから、引き続き、個別支援の充実に努めていきます。

独居高齢者等の要支援者の日常生活における生活課題や福祉課題等を把握し、今後の事業展開につなげていくため、民生児童委員協議会の協力を得て「個別課題等実態調査」を行いました。在宅生活を送るうえで、何らかの支援を必要とされている声が多く聞かれたことから、生活課題の解決に向けた社会資源の創出等が今後の課題となっています。今回の調査結果を地域の福祉関係者と共有し、今後の取り組みに反映させていきます。

コロナウイルスの影響に伴う休業等により収入が減少した生活困窮世帯への支援策として開始された生活福祉資金の特例貸付が令和4年3月末まで延長され、年間約1,200件の相談が寄せられたことから、相談及び申込窓口として円滑な業務遂行に努めました。また、相談者の中には食糧支援など複合的な課題を抱えた方もあったことから、緊急支援品の支給と併せ生活困窮者の支援を行いました。

市民への情報提供を目的に年6回全戸配布している「社協だより」については、デザイン変更や掲載内容の充実を図り、読みやすく、分かりやすい紙面づくりに努めました。

3年目を迎えた柳川市社会福祉法人連絡協議会においては、会員並びに事務局として、地域の課題や制度の狭間にある問題の解決に向け、他の法人と連携しながら、生活困窮者の支援や市内の清掃活動に取り組みました。

2. コロナ禍における地域支え合い活動の支援

長期化するコロナウイルスの影響下において、地区社協活動をはじめとする地域福祉活動の停滞や自粛が続いたことから、昨年に引き続き、コロナ禍における新たな形の福祉活動を検討・提案し、住民相互の支え合い活動の支援に努めました。

地域関係者への活動支援については、地区社協の役員や、福祉委員を対象とした研修会を開催し、コロナ禍における地域福祉活動について学習の機会を設けました。また、コロナ禍で多人数が集まる地域活動が難しい状況下においても住民相互のつながりを絶やさないことを目的として、昨年に引き続き、見守り配布物を作成し、地区社協活動・福祉委員活動における見守り訪問等に広く活用いただくよう事業周知に努めました。

また、地域住民に向けた支え合い活動の普及・啓発を目的として、コロナウイルスの感染拡大状況に配慮しながら各種講座を実施するとともに、広報誌を活用して、各地区のコロナ禍における活動事例や、福祉関係者に関わらず住民同士で身近な範囲で行う支え合い活動の事例等を掲載し、地域福祉への理解促進を図りました。

3. 障害者基幹相談支援センターの円滑な運営

基幹型相談支援事業については、職員体制が十分に整わなかったことから、広報活動や情報発信、虐待防止推進など予定していた事業が思うように進みませんでした。その中で、障害福祉サービス事業所の情報発信や人材育成を目的とした相談支援事業所事例検討会の定期開催や初任者研修へのファシリテーターとしての参加など、可能な範囲での活動に取り組みました。

特に、相談支援事業において比重の大きい計画相談業務については、所管課の協力の下、他の相談支援事業所への移管を進め、相談員の業務負担の軽減に取り組みましたが、移管先の相談支援事業所の計画相談受入れが困難となり移管が進まないことが今後の大きな課題となっています。

4. 感染症や災害時の在宅サービス業務継続計画の策定

コロナウイルス感染症の感染拡大の中での在宅福祉サービスの事業運営が2年を経過しました。

特に、年度後半は通所サービスや入所施設での陽性者発生による休業、利用者や職員の同居家族の中で陽性者や濃厚接触者の疑いの方が連続して発生し、受検や自宅待機期間の協議を繰り返して行い、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる利用者への体調の聞き取りや状況に応じての非接触での買い物支援等を行ってきました。

また、今年度、介護報酬改定の中で、感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築に向けて事業継続計画〔委員会の開催、指針の整備、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等の整備〕の策定が義務付けられました。3年の経過措置期間はありますが、ガイドラインの大枠や備品リスト等の作成を進めており、本格的な内容の検討、協議が今後の課題となっています。

以下、令和3年度の事業概要について報告します。

1. 法人経営部門

- (1) 理事会・評議員会等の開催
 - 理事会の開催 4回 (5/31. 6/17. 12/22. 3/17)
 - 監事会の開催 1回 (5/21)
 - 評議員会の開催 3回 (5/31. 1/18. 3/30)
 - 正副会長会の開催 1回 (3/4)
 - 企画財政委員会の開催 1回 (1/28)
 - 評議員選任・解任委員会 1回 (6/17)
- (2) 職員の教育・研修 0回 (新型コロナの影響により中止)
- (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣 (派遣無し)
- (4) 福祉人材育成のための実習受入れ
 - 介護員養成実習 (受入中止)、社会福祉援助実習 (受入無し)

2. 地域福祉活動部門

- (1) ボランティアセンター管理運営
 - 窓口対応件数 275件 ボランティア体験会 (2日間、18人参加)
 - ボランティアサロン 6回開催、延べ88人参加
- (2) ボランティア講座 親子でボランティア体験 (親子9組参加)
- (3) 傾聴ボランティア養成講座 中止
- (4) 災害に強い地域づくり講座 中止
- (5) 市民福祉講座 2回開催、延べ31人参加
- (6) 福祉教育教材配布 (小学校19校、特別支援学校1校) 606冊 (教職員分を含む)
- (7) 各種機材・機器等貸与事業 高齢者疑似体験用具4件
- (8) 各種基礎調査 令和3年3月31日現在 人口、世帯数、独居高齢者数、高齢者世帯数
- (9) 個別課題実態調査 9月～12月 対象者：80歳以上独居高齢者及び高齢者世帯
- (10) 社協だよりの発行 年6回 (No.97～No.102)
- (11) インターネットによる情報配信 ホームページ (通年)、フェイスブック
- (12) 第16回柳川市社会福祉大会 中止
- (13) 福祉委員設置推進
 - 307行政区/449人 全体研修会 (7/10水の郷)、地区別研修会 (中止)
- (14) 地区社協事業
 - 全体連絡会1回 地区社協役員研修会 (7/17水の郷) 個別支援 (随時)
- (15) よりあい活動支援事業 支援講座2回、参加者26人
 - 遊具貸与件数10件 レクリエーション指導7回 助成金交付0件
- (16) 助成事業
 - 歳末たすけあい (19地区社協、943,000円)
 - 福祉団体活動支援 (4団体、717,000円)
 - ボランティア団体活動支援 (4団体、137,000円)
 - ボランティア連絡協議会活動支援 (96,000円)

- (17) 物故者敬供事業 898 件
- (18) 地域における公益的な取り組みの推進
市内清掃活動への参加 2 回 延べ 7 人

3. 市民福祉サービス部門

- (1) 心配ごと相談事業 開設日数 14 日 相談件数 21 件
- (2) 緊急支援品支給事業 申請件数 154 件 実申請者数 49 人
- (3) 生活福祉資金貸付事業 相談件数 1,242 件 申請件数 292 件 決定件数 290 件
- (4) 子育て支援ゆずりあい事業 譲受件数 19 件 譲渡件数 10 件
- (5) ファミリーサポートセンター管理運営 活動件数 1,460 件 会員登録数 417 人
- (6) 柳城児童館管理運営 開館日数 240 日 延べ利用者数 (保護者 3,789 人/乳幼児 4,072 人)
- (7) 福祉用具貸与事業 年間貸与延べ件数 1,063 件
- (8) ハンディキャブ貸与事業 年間貸与件数 42 件 実利用者数 18 人
- (9) 火災見舞品支給 3 件/5 セット
- (10) 日常生活自立支援事業 利用者数 26 人 支援回数 支援員 379 回、専門員 136 回
- (11) 福祉バス事業 利用日数 3 日 利用者数 45 人
- (12) 老人福祉センター管理運営
 - 大和老人福祉センター 開館日数 216 日 延べ利用者数 4,935 人
 - 三橋老人福祉センター 開館日数 195 日 延べ利用者数 5,793 人

4. 障がい者相談支援部門

- (1) 障害者相談支援事業 相談件数 10,315 件
- (2) 特定相談支援事業 サービス利用計画作成件数 149 件

5. 在宅福祉サービス部門

- (1) 介護保険・障害者総合支援事業
 - 居宅介護支援 ケアプラン作成 1,354 人
 - 訪問介護 利用者数 391 人 利用回数 3,321 回
 - 障害者居宅介護 利用者数 166 人 利用回数 1,790 回
- (2) 予防給付事業
 - 介護予防支援 利用者数 282 人
 - 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス
利用者数 639 人 利用回数 3,804 回
- (3) 在宅介護自費サービス事業 利用回数 175 回
- (4) 地域生活支援事業
 - 移動支援 利用回数 520 回
- (5) 生活管理指導員派遣事業 派遣回数 894 回
- (6) エンゼルサポーター派遣事業 派遣回数 118 回
- (7) 高齢者生きがい活動支援通所事業 実施日数 117 日 延べ利用者数 1,189 人

事業報告付属明細書

《法人経営部門》

1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	第1回理事会（決議の省略） ○決議日：令和3年5月31日 ○理事13人が決議の省略に同意 （理事総数13人） ○監事2人が決議の省略に異議がないことを確認 （監事総数2人）	議案第1号 居宅介護支援・居宅介護予防支援事業所運営規程の一部改正 議案第2号 令和2年度事業報告及び決算報告 議案第3号 次期役員選任候補者の推薦 議案第4号 次期評議員選任候補者の推薦 議案第5号 後任評議員選任・解任委員の選任 議案第6号 定時評議員会の招集 議案第7号 評議員選任・解任委員会の招集
	第2回理事会 ○令和3年6月17日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事11人（総数13人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 ○全議案全会一致で可決	議案第1号 会長の選任 議案第2号 副会長の選任 議案第3号 常務理事の選任
	第3回理事会 ○令和3年12月22日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事12人（総数13人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 ○全議案全会一致で可決	議案第1号 令和3年度資金収支補正予算[第1号]の専決処分 議案第2号 令和3年度資金収支補正予算[第2号]の専決処分 議案第3号 令和3年度資金収支補正予算[第3号]の専決処分 議案第4号 令和3年度資金収支補正予算[第4号]の専決処分 議案第5号 令和3年度資金収支補正予算[第5号]の専決処分 議案第6号 定款の一部変更 [主な意見及び質疑] ・地域子育て支援拠点事業及びファミリーサポートセンター事業の柳川市への移管について 議案第7号 経理規程の一部改正 議案第8号 就業規則の一部変更 議案第9号 非常勤職員就業規則の一部変更

		<p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員の1週間の勤務日数について ・年次休暇の取得単位について <p>議案第10号 福祉用具貸与規程の一部改正 議案第11号 顕彰規程の一部改正 議案第12号 役員等報酬規程の一部改正</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決第三者委員会の開催状況について <p>議案第13号 第2回評議員会の招集について 報告第1号 令和2年度会長及び常務理事の職務執行状況(下半期)の報告 報告第2号 令和3年度会長及び常務理事の職務執行状況(上半期)の報告</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金の収入状況について
	<p>第4回理事会</p> <p>○令和4年3月17日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事10人(総数12人) ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 令和3年度資金収支補正予算[第6号]</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職手当の補正での予算計上について <p>議案第2号 令和4年度事業計画</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員への報酬について ・令和4年度から柳川市に移管する事業に従事する職員の待遇について <p>議案第3号 令和4年度資金収支予算 議案第4号 第3回評議員会の招集</p>
(2) 監事会	<p>第1回監事会</p> <p>○令和3年5月21日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事2人 ※定数2人 <p>○指摘事項なし</p>	<p>令和2年度事業報告及び決算報告に係る監査</p>
(3) 評議員会	<p>定時評議員会(決議の省略)</p> <p>○決議日:令和3年5月31日</p> <p>○評議員20人が決議の省略に同意 (評議員総数20人)</p>	<p>議案第1号 令和2年度事業報告及び決算報告 議案第2号 次期役員を選任</p>

	<p>第2回評議員会</p> <p>○令和4年1月18日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員18人（総数20人） ※定数17人以上22人以内 ・会長、常務理事 ・事務局5人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 令和3年度資金収支補正予算[第1号]の専決処分</p> <p>議案第2号 令和3年度資金収支補正予算[第2号]の専決処分</p> <p>議案第3号 令和3年度資金収支補正予算[第3号]の専決処分</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補正予算の該当月数について <p>議案第4号 令和3年度資金収支補正予算[第4号]の専決処分</p> <p>議案第5号 令和3年度資金収支補正予算[第5号]の専決処分</p> <p>議案第6号 定款の一部変更</p> <p>議案第7号 役員等報酬規程の一部改正</p>
	<p>第3回評議員会</p> <p>○令和4年3月30日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員15人（総数20人） ※定数17人以上22人以内 ・会長、常務理事 ・事務局5人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 令和3年度資金収支補正予算[第6号]</p> <p>議案第2号 令和4年度事業計画</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーの常勤換算数について ・地域食堂支援助成について ・福祉委員と民生委員の連携研修について <p>議案第3号 令和4年度資金収支予算</p>
<p>(4) 正副会長会</p>	<p>第1回正副会長会</p> <p>○令和4年3月4日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長 ・副会長2人 ・常務理事 ・事務局5人 	<p>協議第1号 令和4年度事業計画（案）</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行について ・職員研修の講師選定について ・福祉委員と民生委員児童委員との合同研修等実施について <p>協議第2号 令和4年度収支予算（案）</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香典返し寄附の増加要因について ・出向職員の人件費負担について
<p>(5) 企画・財政委員会</p>	<p>第1回委員会（決議の省略）</p> <p>○決議日：令和4年1月28日</p> <p>○委員8人が決議の省略に同意（委員総数8人）</p>	<p>議案第1号 令和4年度福祉団体等助成金の交付</p>

(6) 評議員選任・解任委員会	第1回委員会（決議の省略） ○決議日：令和3年6月17日 ○委員5人が決議の省略に同意（委員総数5人）	議案第1号 次期評議員の選任
(7) 表彰審査委員会	柳川市社会福祉大会の中止に伴い、被表彰者推薦未実施	

2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	
(2) 人権・同和研修		
i 人権を考えるつどい（柳川市主催）	令和3年12月5日 柳川市民文化会館 参加者3人	「食を通して人が世界がつながる」（講演） 講師 コウケンテツ氏（料理研究家）
ii 企業等の事業主に対する人権・同和问题研修会（大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催）	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣無し

4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・場所等	内容
(1) 介護員養成実習	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため受入中止	
(2) 社会福祉援助実習	受入無し	

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 275 件 (前年比 192 件減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録 4 件 ・ボランティア活動の相談 34 件 (内訳) 活動希望 15 件、活動要請 10 件 ※この内マッチング件数は 8 件 ・その他の相談 17 件 ・ボランティアセンターへの協力要請 28 件 ・ボランティア連絡協議会からの相談 17 件 ・諸室・印刷機の利用 175 件 ※ボランティアセンターへの訪問者数 114 人 <p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動保険 34 件 682 人(213 人減) ・行先用保険 15 件 ・福祉サービス補償 4 件 	<p>【登録団体件数】 計 32 団体 (前年比 36 団体減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会ボランティア 6 団体 ・福祉ボランティア 11 団体 ・教育ボランティア 2 団体 ・文化ボランティア 7 団体 ・子育てボランティア 4 団体 ・環境ボランティア 2 団体 ・災害ボランティア 0 団体 <p>【ボランティア体験会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①8/2 i サイクル活動 柳川高校インターアクトクラブ (10 人) ②12/25 わいわい食堂「もちつき大会」(8 人) <p>【ボランティアサロン】 毎月第 3 土曜日開催 コロナウイルス感染症の影響により開催 6 回 参加者 延べ 88 人</p>
<p>【評価及び課題】</p> <p>コロナウイルス感染拡大により水の郷の休館等が影響し、窓口対応件数が減少した。また、長引くボランティア活動の休止により、活動意欲や体力の低下などの声が多く聞かれるようになってきた。ボランティアの高齢化による活動者の減少が今後の課題である。</p> <p>今年度は、団体の解散やボランティア活動が確認できない団体については登録の抹消を行い、登録団体の整理を行った。</p>	

[各種講座・福祉教育関係]

事業の名称	事業内容・評価及び課題
<p>ボランティア講座</p>	<p>ボランティア活動や国際情勢について親子で考えるきっかけづくりを行うことを目的として、「親子でボランティア体験～アジアの子どもたちに教材を届けよう～」を実施した。</p> <p>参加者：親子 9 組 (親 9 人、子 9 人) ※内 2 組は祖母と孫で参加</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>親子を対象としたボランティア体験を実施し、福祉教育やボランティア活動へのきっかけづくりを行うことができたが、本来予定していた地域食堂の普及推進を図るための講座をコロナ禍により実施することができなかった。地域食堂をテーマとしたボランティア講座についてはコロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、次年度に実施したい。</p>
<p>傾聴ボランティア養成講座</p>	<p>※コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>対面やロールプレイによる演習を主とする内容のため、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。コロナ禍でも実施可能な内容を検討し次年度開催したい。</p>

災害に強い地域 づくり講座	<p>※コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【評価及び課題】 災害図上訓練等の防災に関する講座の開催を予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。 講座の在り方を見直したことに伴い、次年度以降、主催事業としては実施しないが、地域の要望に応じて対応していきたい。</p>
市民福祉講座	<p>市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。</p> <p>①高齢者福祉サービスと介護保険 講師 柳川市役所 高齢者福祉係長 師岡 広和 氏 【参加者 14 人】</p> <p>②身近な人がもしかして、認知症？～どうすればいいの～ 講師 (株)ジーエム 待鳥 伸司 氏 【参加者 17 人】</p> <p>【評価及び課題】 講座を通して、将来訪れるかもしれない身近な人の介護に備えるきっかけづくりを行うことができた。次年度も受講者のアンケート結果等を基に、市民に関心の高い福祉時事問題や福祉課題を抱える当事者支援に繋がる講座を企画していきたい。</p>
福祉教育教材 活用事業	<p>7月6日、市内19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に606冊配布。</p> <p>【評価及び課題】 周りの人々とつながり合い支えられていることや、感謝と思いやりの心の大切さを学ぶ機会となったとの報告があった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。</p>
各種機材・機器 等貸与事業	<p>・高齢者疑似体験用具 4件（学校3、福祉施設1）</p> <p>【評価及び課題】 事業紹介チラシを各学校等に送付し利用促進を図っていく。</p>

2. 調査・広報・普及

事業の名称	事業内容・評価及び課題
各種基礎調査	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施した。 《令和3年3月31日現在データ》</p> <p>①人口 64,576人（前年比689人減） ・65歳以上の割合33.8%（前年比0.5%増） ・75歳以上の割合17.6%（前年比0.1%増） ・14歳未満の割合11.9%（前年比±0）</p> <p>②世帯数 26,077戸（前年比202戸増） ③65歳以上独居高齢者数 4,611人（前年比205人増） ④65歳以上高齢者世帯数 8,113戸</p> <p>【評価及び課題】 調査した福祉データを各種研修や出前講座等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。</p>

<p>個別課題実態調査</p>	<p>要支援者名簿に登録されている 80 歳以上の独居高齢者及び高齢者世帯を対象として、日常における困りごとやコロナ禍における生活状況の変化等について調査を実施した。</p> <p>①調査期間：9月～12月</p> <p>②調査方法：本会で作成したアンケートをもとに、民生児童委員による聞き取り調査を実施。（民生児童委員 1 人あたり上限 10 人で対象者を選定）</p> <p>③配布数及び回収状況：配布数 1,179 人 / 回収数 933 人（回収率：79.1%）</p> <p>④調査結果の概要：「困りごとを身近に相談できる人がいない」といった地域の繋がりの希薄化や、要支援者が抱える困りごとやニーズ（身体機能の低下、孤独感、買い物支援、災害時の避難支援）等が浮き彫りとなった。</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>広く対象者の方の生の声を聞く機会が乏しかったことから、今回の調査は、地域ニーズを把握するうえで大変貴重な機会となった。今回の調査結果を活用しながら、コロナ禍における潜在的課題の解決に向けた社会資源の創出と地域ネットワーク体制の構築に向けた取り組みを進めていきたい。</p>
<p>社協だより発行 (年 6 回発行) 第 97～102 号</p>	<p>年 6 回発行 (5/1、7/1、9/1、11/1、1/1、3/1)</p> <p>【第 97 号】 令和 3 年度事業計画、社協会費お礼、フォトコンテスト作品募集、福祉用具貸与事業紹介、新入職員紹介等</p> <p>【第 98 号】 令和 2 年度事業報告・決算報告、社協会費納入依頼、専任職員採用試験案内、よりあい活動支援講座・ボランティア講座受講者募集等</p> <p>【第 99 号】 赤い羽根共同募金協力依頼、社会福祉大会案内、福祉委員研修会報告、地区社協研修会報告、福祉教育教材寄贈等</p> <p>【第 100 号】 ふれあいフォト・福祉標語コンテスト入賞作品紹介、発刊 100 号特集、正規職員採用試験案内、子育て支援ゆずりあい事業紹介等</p> <p>【第 101 号】 年頭挨拶、第 2 期地域福祉活動計画、地区社協活動紹介、よりあい活動支援講座報告、市民福祉講座受講者募集等</p> <p>【第 102 号】 第 2 期地域福祉活動計画、地区社協活動等紹介、社会福祉大会実行委員募集、福祉委員活動、福祉用具貸与事業紹介等</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>字体や文字の大きさ、余白、レイアウトの統一化など、読みやすい広報誌づくりに努めた。引き続き、紙面の更なる充実を図っていく。</p>
<p>インターネットによる情報配信</p>	<p>○ホームページ 随時更新を行い、社協事業など最新の情報を掲載し、市民に情報提供を行った。 ・年間アクセス件数 13,106 件</p> <p>○フェイスブック フェイスブックを通して、社協事業や地域福祉の情報提供及び啓発活動を行った。</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>紙媒体とインターネットを併用した情報提供及び広報活動の充実に努めていく。</p>

第 16 回柳川市 社会福祉大会	<p>※不特定多数の来場者が見込まれる大規模なイベントであり、コロナ感染防止対策が講じ難いうえ来場者の安全確保も困難なことから、昨年度に引き続き中止とした。</p> <p>【評価及び課題】 次年度、改めて実行委員会を立ち上げ大会準備を進めていく。</p>
---------------------	--

3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	事業内容・評価及び課題
福祉委員設置推進事業 (通年)	<p>○福祉委員設置状況 (R4.3 月末現在) 福祉委員数 449 人 (307/323 行政区)</p> <p>○研修等開催状況</p> <p>1) 福祉委員全体研修会 7 月 10 日 水の郷 (参加者 182 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの取り組み並びに地域に潜む個別課題の事例説明 ・福祉委員の役割及びコロナ禍の活動事例 <p>○福祉委員活動実態調査の実施 (全員対象) 3 月下旬実施</p> <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルス感染拡大が一定落ち着いた折を見て全体研修会を実施したが、地区別研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。今年度末で任期満了を迎えることから、行政区長に対し次期委員の推薦依頼を行った。また、福祉委員の活動状況を把握するため、全員を対象に活動実態調査を実施した。調査結果を踏まえ、福祉委員個々の活動支援につなげていくとともに、地域の福祉関係者との連携強化に努めていく。</p>
地区社協事業	<p>○地区社協連絡会 (3 月 23 日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の助成金、連絡会事業について ・福祉委員改選に係る推薦手続きについて ・第 3 期地域福祉活動計画策定に係るアンケート調査への協力について ・各地区の課題共有及び情報交換 <p>○地区社協役員研修会 7 月 17 日 水の郷 (参加者：18 地区、106 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者の連携とコロナ禍の地区社協活動について ・活動報告 (2 地区)：昭代地区、矢ヶ部地区 <p>○地区社協個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部研修への職員派遣、その他、運営及び活動への助言等 <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルスの影響により、各地区社協とも従来の福祉活動を控える傾向が昨年に引き続き見られた。今年度は、地区社協の運営等を担う各地区の役員を対象に全体研修会を実施し、コロナ禍において実施可能な取り組みについて紹介し、各地区での実践を促した。また、今後の活動の参考にしてもらうため 2 地区から活動報告をしてもらった。今後も、各地区への個別支援を中心に、関係者同士の情報共有の場づくりや活動における課題把握に努めていく。</p>

よりあい活動普及推進事業	<p>○よりあい活動支援講座の開催</p> <p>よりあい活動の必要性やその効果を理解し、更には実践力を習得した地域の福祉関係者を養成するために実施。</p> <p>① よりあい活動支援室内遊具体験会 講師 市社協職員 参加者：17人</p> <p>② よりあい活動を広めよう！～よりあい活動新規立ち上げ応援講座～ 講師 市高齢者福祉係職員、沖田いきいきクラブ 力野氏、市社協職員 参加者：9人</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>今回の講座では新規立ち上げ応援をテーマに講座を開催し、地区社協の関係者等によりあい活動の立ち上げの流れを説明することができ、また実践者の体験談も講座に取り入れたところ、大変好評であった。今後もよりあい活動の新規立ち上げに繋がる講座を企画していきたい。</p> <p>○よりあい活動室内遊具の貸与 貸与件数 10 件 （内訳：地域デイサービス 5、老人会 1、その他 4）</p> <p>○レクリエーション指導回数 年 7 回</p> <p>○新規立ち上げのための助成金交付 助成団体数 0 団体</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>貸与件数、レクリエーション指導回数ともに、前年度とほぼ同数であった。今後も、遊具の貸出やレクリエーション指導を通して参加者の生きがいや居場所づくりの一助となるよう事業を継続していきたい。</p> <p>新規立ち上げのための助成については、コロナ禍の影響もあり、助成金の申請団体はなかった。今後は、コロナと上手に付き合いながら実施するよりあい活動の新たな形を提案しながら、活動の更なる普及推進を図っていく。</p>
--------------	--

4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	事業内容・評価及び課題
歳末助け合い事業 ※助成事業 (12/1～12/31)	<p>新年を迎える時期に要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地域：柳川 8 地区、大和 6 地区、三橋 5 地区 ・助成額 943,000 円（前年比 34,200 円減） ・主な事業：一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯及び施設入居者等への見舞品配布（カツオパック、お茶、タオル、手紙など） <p>※市社協で作成した見守り配布物（脳トレドリル、自宅でできる体操の紹介チラシ等）も活用いただいた。</p> <p>【評価及び課題】</p> <p>地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実に繋がる支援を行ってきたい。</p>

福祉団体活動支援事業 ※助成事業	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。 ・助成団体数 4 団体（前年比±0） ・助成額 717,000 円（前年比 42,000 円減）
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。 ・助成団体数 4 団体（前年比+1） ・助成額 137,000 円（前年比 21,000 円増）
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	市内でボランティアを行う団体又は個人の繋がりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額 96,000 円（前年比±0）
物故者への敬供事業	敬供件数 898 件（前年比 98 件増） ※敬供品 線香及び弔意 ・市内 895 件（+101） ・市外 3 件（-3） 【評価及び課題】 香典返し寄付の件数は前年度と比べ増加しているが、寄付額及び敬供寄付比率は近年逡減傾向にあるため、引き続き敬供事業の在り方を検討していく必要がある。

5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容・評価及び課題
地域公益活動への参加	○道守柳川ネットワーク清掃活動への参加 10月24日（日） 5人参加 2月20日（日） 2人参加 【評価及び課題】 社会福祉法人連絡協議会（14 団体加入）の事務局として、総会・役員会等の組織運営や未加入法人への加入促進及び清掃活動への積極的な参加を行った。

《市民福祉サービス部門》

1. 総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業 [市受託事業]

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	第1・第3木曜日 13:00～16:00	14日 (±0)	21件 (+3)	財産・家族・離婚・ その他
<p>【評価及び課題】</p> <p>今年度は23日間の開設を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態措置等が発令されている期間内の9日間を中止にした。また、令和2年6月から相談日を毎月第1・第3木曜日に変更したが、1日あたりの相談件数は令和元年度以前が0.8件/日程度だったのに対し、令和2年度が1.2件/日、令和3年度が1.5件/日と改善傾向にある。今後、感染対策を徹底しながら事業を実施していく。</p>				

2. 生活困窮者の支援

(1) 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ 世帯人数	社協支給品				その他支給品
			アルファ米	パン(缶)	主食 (インスタント)	副食 (インスタント)	
154件 (+45)	49人 (+1)	191人 (-23)	60食 (-13)	39缶 (+35)	222食 (-264)	239食 (-710)	フードバンクくるめ、県社協、寄附などで提供いただいた缶詰、麺類、白米、パン(缶)、レトルト食品等を支給。
<p>【評価及び課題】</p> <p>今年度は単身の低所得者又は高齢者に対し、年金や保護費支給日までのつなぎとして同一世帯に複数回の支給を行ったため、前年度と比較して申請件数は増加したものの、延べ世帯人数は減少している。</p> <p>また、フードバンクくるめや市民から寄附された食品を主として支給したため、本会で購入する支給品を少なく抑えることができた。</p> <p>しかし、申請者の中には本事業への依存が見受けられ、食費を浮かせて遊興費に充てているケースもあったため、申請者の生活実態の把握に努め、生活の自立に繋がるように支援していく。</p>							

(2) 生活福祉資金貸付事業 [県社協受託事業]

資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	2件	1件	0件	0件	1件	1件	0件	17件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	
	特例生活支援費	696件	0件	39件	735件	122件	121件	0件	240件
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	30件	0件	0件	30件	7件	7件	6件	31件
	緊急小口資金	54件	2件	0件	54件	16件	16件	20件	46件
	特例緊急小口資金	444件	0件	0件	444件	141件	140件	1件	376件
教育支援 資金	教育支援費	10件	2件	0件	12件	2件	2件	4件	138件
	就学支度費	6件	0件	0件	6件	3件	3件	5件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	11件
合 計		1,242件	6件	39件	1,281件	292件	290件	38件	861件
(前年比)		(-370)	(+3)	(+34)	(-339)	(-117)	(-100)	(+15)	(+247)

【特例生活支援費申込相談件数内訳】

・総合初回：322件 ・延長：102件 ・再貸付：272件 計696件

【特例生活支援費延長、再貸付 貸付決定件数】

・延長(6月末受付終了)：28件 ・再貸付(12月末受付終了)：77件 計105件

【評価及び課題】

新型コロナウイルスの影響で減収した世帯へ貸付を行う特例緊急小口資金と特例生活支援費の申請期間は、令和4年3月末まで延長となった。令和3年度には生活困窮世帯を対象とした特別臨時給付金等も開始されたことで、前年度と比べ新規の貸付相談及び申込件数は共に減少したが、次年度も感染状況次第では申請期間の適時延長が考えられるため、市民サービスを低下させないように職員体制を維持していく。また、同資金の償還についても、今後問い合わせが増えることが予想されるため、必要な人員体制の確保に努めていく。

なお、生活保護世帯への貸付の際に保護費からの代理納付制度が可能となるよう、引き続き柳川市と協議を行っていく。

3. 子育て世帯の支援

(1) 子育て支援ゆずりあい事業

品目	チャイルドシート	ベビーバス	ベビーベッド	合計
譲受件数	6件 (±0)	7件 (+3)	6件 (+2)	19件 (+5)
譲渡件数	7件 (+2)	2件 (±0)	1件 (-4)	10件 (-2)
合計(前年比)	13件 (+2)	9件 (+3)	7件 (-2)	29件 (+3)

【評価及び課題】
 不要となった育児用品を譲りたい人と譲ってほしい人との橋渡しを行うことで、資源の有効活用と子育て世代の育児支援を目的に実施した。申請日と本会ホームページのアクセス件数が、広報誌への記事掲載月とその翌月に集中していることから、積極的に記事を掲載し、利用者の増加を図っていく。

(2) ファミリーサポートセンターの管理運営 [市受託事業]

<p>【会員登録状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おねがい会員…306人 (前年比 12人) ・まかせて会員… 87人 (前年比 -4人) ・どっちも会員… 24人 (前年比 0人) 合計…417人 (前年比 8人) <p>【まかせて会員養成講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 7月1日～11月10日 ※参加12人中修了者1人 <p>【交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 3月10日 参加人数8人 	<p>【活動件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,460件/年 (前年比 +497件) <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎 ・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり ・学童から自宅までの送迎 ・保育園登園前の預かりから保育園への送り ・兄弟の通院時の預かり ・保護者の外出時の預かり ・保護者の仕事復帰に伴う諸準備時の預かり ・自宅から保育園までの送り ・登校や学童までの預かりと送り
<p>【評価及び課題】</p> <p>緊急事態宣言等発令期間中においては、子どもの預かりに関する活動を中止したものの、年間の活動件数は増加した。これは、令和元年度から、柳川市が利用料金の一部を助成し個人負担が減額されたことで、当該事業の利用促進につながっているものと思われる。個人負担が安価になったことで、今後もサポート依頼の増加が予想されることから、まかせて会員の加入促進を図る必要がある。</p> <p>当該事業の本会での実施は、今年度をもって終了となるが、事業自体は引き続き柳川市の直営で実施されるため、本会が行う子育て関連事業と連携し、引き続き子育て支援に努めていく。</p>	

(3) 柳城児童館の管理運営 [市受託事業]

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場 相談件数	児童館 相談件数
		保護者	乳幼児		
4月	21日	493人	579人	271件	86件
5月	18日	139人	149人	89件	48件
6月	23日	258人	289人	161件	82件
7月	20日	355人	400人	243件	10件
8月	21日	172人	218人	117件	5件
9月	19日	136人	129人	124件	6件
10月	21日	356人	388人	279件	9件
11月	20日	399人	413人	232件	12件
12月	20日	437人	449人	267件	21件
1月	18日	448人	459人	303件	12件
2月	17日	162人	150人	115件	5件
3月	22日	434人	449人	224件	13件
合計 (前年比)	240日 (+30)	3,789人 (+262)	4,072人 (+306)	2,425件 (+57)	309件 (+119)

柳城児童館では、主に地域子育て支援拠点事業（つどいの広場「このゆびとまれ」）を実施しており、乳幼児の親子を対象としたノンプログラムでの交流の場を基本とし、子育て情報の提供や子育て相談、子育てセミナーなどの講座を実施している。また、18歳未満の子育て中の親の相談も受け付けている。コロナ禍で未就学児や小学生が午後4時以降庭で遊ぶことが多く、児童館利用者が多くなった。

○実施している子育て講座（参加者延べ数 親子で861人）

- ・ゆりかご子育てセミナー（年4クール中2クール実施）
- ・おしゃべりカフェセミナー（年2クール中実施無し）
- ・救急救命講座（年1回）
- ・助産師相談（月3回）
- ・ベビーマッサージ講座（月1回午前午後）
- ・双子ちゃんあつまれ（随時実施）
- ・ミニプレーパーク（月1回）
- ・蒲池中学校子育て広場（中止）
- ・ZOOM オンライン子育て広場（年7回）
- ・小児科医座談会（中止）
- ・子どもの怪我病気の対応（中止）
- ・このゆびトークタイム（随時実施）
- ・前向き子育て講座（中止）

【評価及び課題】

新型コロナウイルスの影響により、閉館や入場制限等しながら事業を実施した。利用時間を短縮し、利用前後の時間を消毒作業に充てるなど、感染予防対策を徹底することで利用者の安心につなげた。結果、開館時の利用者数は、コロナ禍でも減ることはなかった。

また、コロナ禍での取り組みとしては、オンライン子育て広場を実施し、悩み相談や不安の軽減を図った。Facebookに加え、Instagramも開始し情報発信にも力を入れた。

行政との連携では、お互いの事業に人材を派遣し合い、重篤な相談は連携して解決に当たることができた。また、日曜開館を野外活動として実施することで、父親や働く母親の利用が定着した。

当該事業の本会での実施は、今年度をもって終了となるが、事業自体は引き続き柳川市の直営で実施されるため、本会が行う子育て関連事業と連携し、引き続き子育て支援に努めていく。

4. 在宅生活の支援

(1) 福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数
車 椅 子	243 件 (-33)
電 動 ベ ッ ド	788 件 (-88)
歩 行 器	23 件 (+1)
松 葉 杖	3 件 (±0)
乳 児 用 ベ ッ ド	6 件 (-24)
合計 (前年比)	1,063 件 (-144)

【評価及び課題】

貸与件数は前年度と比較して減少しており、特に電動ベッドについては、要介護区分の変更により介護保険制度でレンタルをされ、本会の貸与品を返却されるケースが多かったことが件数減少の要因である。また、新型コロナウイルスの影響を受け、逡減傾向にあった車椅子の利用は新しい生活様式への移行が進む中、通院や外出をする機会が戻りつつあるため、今後は需要の回復が見込まれる。今後も本事業の周知を図りながら、利用者や家族等の負担軽減に貢献できるよう努めていく。

(2) ハンディキャブ (福祉車両) 貸与事業

実利用者数 (前年比)	年間貸与件数 (前年比)	評 価 及 び 課 題
18 人 (+5)	42 件 (+18)	<p>新型コロナウイルスの感染拡大が一時的に減少した間、通院や旅行等の外出に使用する利用者が増えたため、貸与件数は増加した。</p> <p>また、令和2年1月から休日を含め、最大4泊5日までの利用を可能としたため、3泊4日間など長期間借りられる方が増えてきた。</p> <p>現在の年間貸与件数は、当日返却20件、1泊2日以上貸出が22件と短期長期ともに増加傾向にある。今後も事業紹介チラシ等で、貸出期間が延長されたことを周知し、車椅子利用者の外出支援に努めていく。</p>

5. 被災世帯の支援

(1) 火災見舞品支給事業

支給件数 (前年比)	事業内容・評価及び課題
3 件 (5 セット) (+2)	<p>火災に遭われた世帯に対して、急場の生活維持のために救援物資の支給を行う。</p> <p>【評価及び課題】 被災状況の情報を正確に把握し、速やかに見舞品を届けられるように努める。</p>

6. 福祉サービス等の利用援助

(1) 日常生活自立支援事業 [県社協受託事業]

利用者数	26人(+2) ※年度中途の契約解除者を含む [内訳] 認知症高齢者 17人、知的障がい者 3人、精神障がい者 6人
支援内容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言
支援回数	支援員 379回(-29)、専門員 136回(-21) ※延べ支援回数
<p>【評価及び課題】</p> <p>本事業の需要は、ひとり暮らし高齢者の増加に伴い増加しているが、支援する専門員及び生活支援員は、社協職員が通常業務と兼務しながら対応していることから、生活支援員 1人あたりが対応できる利用者数に上限を設けているため、市民の福祉ニーズに十分に対応できていない状況である。</p> <p>現在、本事業の利用待機者 7名については、利用開始の見通しが立たない状況が続いているため、担当職員の増員について行政と協議したり、ボランティア活動や福祉に関心のある方を市民生活支援員として養成したりするなど、生活支援員の確保について検討していく必要がある。</p> <p>また、利用者の中には、判断能力の低下により成年後見制度への移行が必要な方もみられるものの、生活保護世帯や低所得世帯の方などは資力の問題から後見人のなり手が見つかりにくい状況にあるため、法人後見の実施について今後検討していく必要がある。</p>	

7. 福祉バス事業 [市受託事業]

利用団体	利用日数	利用者数
市・単位老人クラブ	1日(±0)	8人(-8)
福祉団体	2日(+2)	37人(+37)
地域団体	0日(±0)	0人(±0)
民生児童委員協議会	0日(±0)	0人(±0)
市・地区社会福祉協議会	0日(±0)	0人(±0)
柳川市	0日(±0)	0人(±0)
合計(前年比)	3日(+2)	45人(+29)
<p>【評価及び課題】</p> <p>前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福祉バスの運行を中止した期間が長かったこともあり、利用は3回にとどまった。また、車両の使用年数が23年、走行距離が25万kmを超えているため、車両の老朽化が課題である。今後も感染予防対策を徹底しながら、事業運営を行っていく。</p>		

8. 大和・三橋老人福祉センター管理運営 [市受託事業]

[大和老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	25日	483人	19.3人
5月	7日	100人	14.3人
6月	8日	110人	13.8人
7月	25日	435人	17.4人
8月	6日	116人	19.3人
9月	0日	0人	0人
10月	27日	531人	19.7人
11月	23日	518人	22.5人
12月	23日	555人	24.1人
1月	23日	621人	27.0人
2月	22日	658人	29.9人
3月	27日	808人	29.9人
合計 (前年比)	216日 (+2)	4,935人 (+1,234)	22.8人 (+5.5)

【評価及び課題】
 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるセンターの閉館や感染への不安からセンター利用を控える方も多く見られたが、令和3年11月よりカラオケが再開され、利用者数も徐々にではあるが増加傾向である。今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

[三橋老人福祉センター]

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	23日	590人	25.7人
5月	5日	151人	30.2人
6月	9日	232人	25.8人
7月	22日	552人	25.1人
8月	5日	137人	27.4人
9月	0日	0人	0人
10月	23日	566人	24.6人
11月	22日	670人	30.5人
12月	22日	708人	32.2人
1月	20日	689人	34.5人
2月	20日	697人	34.9人
3月	24日	801人	33.4人
合計 (前年比)	195日 (+2)	5,793人 (-310)	29.7人 (-1.9)

【評価及び課題】
 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるセンターの閉館や感染への不安からセンター利用を控える方も多く見られたが、令和3年11月よりカラオケが再開され、利用者数も徐々にではあるが増加傾向である。今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

《障がい者相談支援部門》

(1) 障害者相談支援事業

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	184件	350件	134件	17件	0件	73件	1件	76件	835件
5月	91件	315件	181件	12件	0件	97件	2件	65件	763件
6月	159件	303件	107件	16件	0件	74件	26件	62件	747件
7月	286件	281件	122件	32件	0件	57件	28件	93件	899件
8月	202件	386件	133件	12件	0件	53件	18件	83件	887件
9月	182件	380件	134件	21件	0件	48件	2件	75件	842件
10月	270件	402件	168件	14件	0件	85件	0件	75件	1014件
11月	155件	366件	129件	18件	0件	118件	1件	49件	836件
12月	121件	336件	172件	27件	0件	99件	13件	54件	822件
1月	166件	282件	165件	40件	0件	103件	3件	37件	796件
2月	177件	256件	185件	22件	0件	131件	0件	54件	825件
3月	203件	424件	166件	43件	0件	169件	5件	39件	1049件
合計 (前年比)	2,196件 (+625)	4,081件 (-8)	1,796件 (-56)	274件 (-74)	0件 (-4)	1,107件 (+381)	99件 (+25)	762件 (+167)	10,315件 (+1,056)
相談比率	21.2%	39.9%	17.4%	2.6%	0%	10.7%	0.9%	7.3%	—

【相談方法】 関係機関(46%)、電話(27%)、訪問(3%)、来談(1%)、電子メール(0%)、同行(2%)、その他(21%)

【支援内容】 福祉サービス(23%)、健康・医療(13%)、生活技術(14%)、家計・経済(8%)、人間関係(9%)、就労(5%)、不安の解決(6%)、社会参加(2%)、障害・病気の理解(2%)、保育教育(2%)、権利擁護(2%)、その他(14%)

【サービス利用計画作成件数 149件】

内訳：知的84件、身体23件、精神20件、重度心身17件、高次脳1件、発達障害4件

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染状況により、電話対応やオンラインによる非接触型の相談支援と並行して、内容に応じて対面式での面談や同行支援等を実施した。相談件数は前年度に比べると増加。高齢者分野や児童分野、医療分野などからの相談や連携依頼が増加し、包括的かつ継続的な相談支援を要する。

基幹相談支援センターが始まったが、職員体制が整わず、広報活動や権利擁護の推進活動が進まなかった。また、所管課の協力の下、計画相談の移管を進めていたが、移管先が飽和状態となったことで、基幹相談の役割を担いつつ計画相談も行う必要があり、効率的かつ効果的な業務分担が課題である。

《在宅福祉サービス部門》

(1) 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		障害者総合支援	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	111人	32人	294回	15人	165回
5月	113人	34人	278回	15人	153回
6月	115人	33人	314回	15人	186回
7月	113人	32人	296回	15人	188回
8月	120人	34人	256回	15人	163回
9月	114人	30人	242回	14人	157回
10月	107人	33人	263回	14人	163回
11月	109人	33人	287回	13人	151回
12月	109人	32人	285回	13人	129回
1月	114人	37人	271回	12人	112回
2月	114人	31人	254回	12人	97回
3月	115人	30人	281回	13人	126回
合計 (前年比)	1,354人 (-23)	391人 (-10)	3,321回 (-413)	166人 (-17)	1790回 (-331)

【評価及び課題】

居宅介護支援については、コロナウイルスの感染状況に応じて、訪問又は電話対応等による非接触型の支援に努めた。訪問介護については、利用回数の多い方の入院や入所、要介護度の低下や死亡等により利用回数は減少した。障害者総合支援事業については、利用者の転居による環境の変化に伴い、サービスに変更が生じ利用者数・利用回数ともに減少した。今後も信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。

(2) 予防給付事業

月	介護予防支援	総合事業（現行相当訪問介護）	
	利用者数	利用者数	利用回数
4月	21人	49人	282回
5月	22人	52人	275回
6月	20人	53人	296回
7月	21人	51人	303回
8月	21人	54人	337回
9月	21人	54人	328回
10月	26人	55人	353回
11月	26人	53人	339回
12月	27人	55人	334回
1月	31人	53人	295回
2月	25人	55人	307回
3月	21人	55人	355回
合計 (前年比)	282人 (+26)	639人 (-21)	3,804回 (-13)

【評価及び課題】

介護予防居宅介護支援の利用者数は増加し、現行相当訪問介護の利用者数・利用回数ともに若干の減少となった。今後も、利用者の自立支援のため、より専門性を発揮したサービス提供に努めていきたい。

(3) 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数
4月	6人	17回
5月	6人	14回
6月	5人	13回
7月	5人	15回
8月	6人	15回
9月	7人	17回
10月	6人	13回
11月	7人	14回
12月	7人	14回
1月	6人	16回
2月	5人	13回
3月	6人	14回
合計 (前年比)		175回 (+3)
<p>【評価及び課題】</p> <p>前年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、余暇活動や施設入所者への支援が行えず、利用者数・利用回数ともに減少していたが、徐々に外出の機会や訪問回数を維持できるようになってきた。</p> <p>今後も引き続き、利用者の介護ニーズに柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら自費サービスの提供に努めていく。</p>		

(4) 地域生活支援事業 [市受託事業]

[移動支援事業]

月	実利用者数	利用回数
4月	5人	40回
5月	6人	46回
6月	5人	57回
7月	5人	47回
8月	4人	18回
9月	5人	32回
10月	6人	60回
11月	5人	54回
12月	6人	48回
1月	4人	39回
2月	4人	44回
3月	4人	35回
合計 (前年比)		520回 (+172)
<p>【評価及び課題】</p> <p>前年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、特別支援学校の休校等の影響もあり、若干の減少となっていたが、外出や余暇活動も徐々に再開され利用者数も増加傾向となった。</p> <p>今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。</p>		

(5) 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業 [市受託事業]

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣	
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数
4月	20人	80回	1人	13回
5月	19人	67回	1人	13回
6月	20人	69回	1人	16回
7月	19人	77回	1人	14回
8月	20人	73回	1人	4回
9月	21人	72回	1人	14回
10月	22人	77回	1人	7回
11月	22人	72回	1人	8回
12月	24人	86回	1人	8回
1月	24人	76回	1人	10回
2月	23人	69回	1人	11回
3月	23人	76回	0人	0回
合計 (前年比)		894回 (+368)		118回 (-75)

【評価及び課題】

生活管理指導員派遣事業については、利用者数は前年度より大幅に増加している。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要支援の認定を受けた方や、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができるよう引き続き支援を行っていく。

エンゼルサポーター派遣事業については、今年度1人の利用があったが保育園入園により令和4年2月をもって利用終了となった。引き続き所管課と連携し利用者支援に繋げていきたい。

(6) 高齢者生きがい活動支援通所事業 [市受託事業]

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	11日	40人	37人	127人	11.5人
5月	0日	40人	0人	0人	0人
6月	0日	40人	0人	0人	0人
7月	20日	40人	34人	209人	10.5人
8月	5日	42人	35人	57人	11.4人
9月	0日	42人	0人	0人	0人
10月	15日	42人	32人	150人	10.0人
11月	20日	43人	32人	200人	10.0人
12月	19日	44人	31人	193人	10.2人
1月	12日	45人	31人	116人	9.7人
2月	0日	45人	0人	0人	0人
3月	15日	45人	33人	137人	9.1人
合計 (前年比)	117日 (-45)			1,189人 (-429)	10.2人 (+0.2)

【評価及び課題】

本事業を利用することで日常生活における活動意欲の向上及び認知症予防に繋がっている。緊急事態措置等の発令期間中に事業を中止したことにより、利用者の自宅待機が長期化したことで、総利用者の4分の1が、身体・精神的機能の低下等により他の介護サービス利用へ移行された。

利用者の高齢化が進んでおり利用者数は減少傾向にある。事業対象者が大和地区に限定されているため、周知や広報活動に制約があるが民生委員等を通じて新規利用者の獲得に努めていきたい。

